

[KGU同窓会コミュニケーション誌] 京都学園大学同窓会

Cheer

NO.13

チアー [cheer]

応援すること・関心すること・激励すること
元気がよいこと・気分がよいこと・おいしいこと

Reportage of Graduates

それぞれの卒業後を追う

●もみじ饅頭「有限会社坂本菓子舗」二代目

坂本恭弘

●エリア探訪「四国編」

株式会社 大泉たきざわ

瀧澤弾介

Let's Reeducate!

誌上ゼミナール／今西幸藏

21世紀社会では
リカレント教育が明暗を分ける!?

KGU Topics

京都学園大学の今日・明日
教務部長&事務局長メッセージ

同窓会員の広場

卒業生の会社／地元で頑張っています
あの先生は、今／ボイスボックス
創立30周年記念募金／同窓会会長メッセージ
事務局たより

ふれあいレポート

Restaurant POKKIN'S／杉山泰治

世界文化遺産の島・安芸の宮島。 この地を代表する銘菓「もみじ饅頭」の 伝統的な製法と風味を守り、 手づくりのおいしさを提供しています。

発案者は元勲・伊藤博文公？ 100年以上の歴史を誇る銘菓

「秋の紅葉谷に遊ばれる伊藤博文公に、茶店の美しい少女がお茶を差しあげたところ、その手をとって「もみじのような可愛い手、焼いて食べたなら美味しかろう」と戯れに言われました。これを側で聞いていた茶店の女将の話により、散って落ちたもみじの葉を形どって焼いたのが「もみじ饅頭」の由来と伝えられます」これは坂本菓子舗のもみじ饅頭に添えられた葉の、「もみじ饅頭の由来」と題された文章の一節である。明治中期のこととされているから、優に1世紀以上の歴史をもつ銘菓なのである。

ところで宮島と言えば、海中にそそり立つ朱塗りの大鳥居で知られた厳島神社が有名だ。6世紀末に推古天皇が創建し、12世紀に平清盛が建立したとされるこの神社は、平成8年には世界文化遺産に登録されている。

さらに、厳島神社周辺から標高530mの弥山へと続く原始林は、昭和4年に天然記念物に指定されている。人口2300人、野生の鹿600頭が住む宮島は、いわば島全体が文化財であり、建物こそ建て替わっているものの、その町並みは江戸時代そのままの風情を今に遺しているのである。

この島を訪れる観光客は年間二百数十万人にのぼる。そして、その観光みやげとして欠かさないのが、宮島の銘菓「もみじ饅頭」なのだ。



もみじ饅頭と杓子せんべいを 2枚看板とする坂本菓子舗

本土側の宮島口から連絡船に乗ると、約10分で宮島棧橋に着く。港の前の広場を突っ切って少し山側に入ると、みやげもの屋が立ち並ぶ商店街が右手方向に延びている。これを通り抜けたすぐの道を、左(山側)に入ったところが坂本菓子舗だ。創業昭和34年、KGU10期生の坂本恭弘さん夫婦は、創業者であるお父さん夫婦と叔父さんの5人で経営にあたっている。男性は製造担当、女性が販売担当といったところだ。

もみじ饅頭にしろ杓子せんべいにしろ、ほとんどの同業者が全自動化を図っているなかで、坂本菓子舗は今も手づくりにこだわっている。二代目として忙しく立ち働く坂本恭弘さんに、伝統の製法を守るポリシーや、学生時代の思い出話などを伺ってみた。



平安朝をしのばせる優雅なたたずまいを見せる、世界文化遺産の厳島神社。海に浮かぶように建てられた寝殿造りの社殿は、一説には現世に熊鷹城を再現したものとも言われている。この左手すぐのところに坂本菓子舗がある。

それぞれの 卒業後を追う

坂本 恭弘

昭和57年経済学部経営学科卒業
もみじ饅頭・杓子せんべいの
製造・卸・小売
「有限会社坂本菓子舗」
二代目として活躍中



通りに面した作業場でもみじ饅頭を焼く坂本さん。これに隣接する売場には喫茶コーナーが設けられており、焼き上がったばかりのアツアツを食べることもできる。

機械化した方が効率がいいし、製品も均一に仕上がります。しかし、手づくりでなくては出せない味わいがあるんです。

添加物を一切加えないで厳選した素材の味を生かす

「もみじ饅頭の第1のポイントは、何といってもあんづくりですね。原料は粒ぞろいの小豆と砂糖（白ザラメ）だけで、添加物は一切使っていません」

まず小豆をゆで、こすり合わせるようにして皮をむく。これを濾して皮を完全に除去し、本炊きする。煮上がったものは十分に水槽でさらし、あくを取り去ってサラサラとした粉にする。これを砂糖と合わせて煮つめ、こしあんにするわけだ。

「一般の小豆あんに比べると、きめ細かで白っぽい色をしているのが分かると思

ます。もちろん皮を取り除いているからで、口あたりもなめらかになるんですよ。また、水にさらしてあくをなくすことにより、日持ちをよくすることができます」

一方、あんを包むカステラも、新鮮な卵と無漂白の小麦粉、砂糖（上白糖）だけのシンプルな配合だ。

「添加物はもちろん、水もほとんど使いません。昔ながらの味を守るためには手間も時間もかかるし、年季の入った技術も必要ですが、宮島へ来るたびに買ってくださるお客様の期待を裏切るわけにはいきませんからね」

もみじ饅頭のほかにも一つ、杓子せんべいも坂本菓子舗自慢の逸品である。原料はもみじ饅頭と同じ卵と小麦粉、それに砂糖だが、もちろんそれらの配合比率は異なる。

「この生地づくりが難しいんですよ。原料の配合や練り加減を間違えると、うまく焼けないんです。それでもお客様のことを思えば、手焼きにこだわりたいと思っています」



あんの原料の小豆と砂糖。いずれも十分に吟味し、厳選した素材だ。左下は皮をむいた小豆。これを煮て水にさらし、あくを取り去ってサラサラの粉にする。

二代目を継ぐきっかけは漫オコンビB&Bのギャグ

坂本恭弘さんが二代目を継ぐ決心をした裏には、面白いエピソードがある。「大学在学中、漫オブームが起りましてね。当時、大変な売れっ子だった漫オコンビのB&Bが、ギャグで“もみじ饅頭”を連発し

たものだから、爆発的に売れ始めたわけですよ」

「特に秋の観光シーズンともなると、いくら造っても足りないといった状態で、土曜・日曜は宮島へ帰って商売を手伝うようになりました。4回生になって父

に就職の相談をしたら、忙しいから帰ってこいの一言で、まったく選択の余地はなかったですね」

そんな状態だから、大学で入ったクラブも、半年ほどで退部せざるを得なくなったという。皮肉なことに、大学卒業とともに漫オブームは去ってしまったというが、いま坂本さんは将来に向けて次なる策を練っているところだ。

「eコマースの波に乗ろうと、最近ホームページを開きました。また日持ちがし、年間を通じて安定的に販売できるオリジナル商品の開発にも取り組んでいます。伝統は守りつつ、新時代に対応していくことも大切ですからね」

技術がモノをいう手焼き衰退傾向にある伝統製法

「全自動にすればラクなんですがね。熟練した職人さんは要らないし、誰がやっても均一に焼き上がりますからね。それにスピードが違います。たとえば杓子せんべいの場合、手焼きと機械焼きでは5倍の差があるんです」

経営効率を考えるなら機械焼きが断然有利だ。現にほとんどの同業者は機械化に踏み切っており、今なお手焼きにこだわる場所は、ほんの数軒を数えるのみという。

「あんについても、小豆の皮をむかないで使う店が増えているようですね。なにしろ手間がかかるばかりでなく、皮を取り去ることによって3割くらい量が減りますからね。これも経済性や経営効率に大きな差が出ます」

修学旅行生など若者向けとして、あんの代わりにクリーム、チーズ、チョコなどを入れたもみじ饅頭もあるが、坂本菓子舗では圧倒的に昔ながらのあんこ入りが人気だそう。伝統的な製法と味にこだわる理由は、まさにそこにあると言えるだろう。



写真上と下は焼き上がったばかりのもみじ饅頭。中左は杓子せんべいの金型、中右はあんを煮る釜。手づくりが基本だけに、どれもシンプルなものがいい。



それぞれの卒業後を追う



友人の受験につきあって、3次試験で見事に合格!

「実は志望校の受験に失敗して、一時は浪人を覚悟していたんですよ。ところが3月下旬のギリギリになって、近くの同級生がKGUの3次試験を受けることになり、受験につきあってくれと頼まれてね。結局その友人は落ち、私が受かってしまったんです」

「1年先輩がKGUに入っていたし、前年12月にはやはり同級生がKGUへの入学を決めていたので、親近感がありました。それにその当時、宮島の大聖院の住職が京都・仁和寺の要職を務めておられていたも



坂本菓子舗の2枚看板、もみじ饅頭(上)と杓子せんべい(右)。厳選素材を使い、熟練の技で手づくりされるだけに深い味わいがある。

のですから、京都に対する違和感はなかったですね」

「学生時代は、とにかくよく遊びましたね。昼間は喫茶店で話し込んだり、嵐山の河原でキャッチボールをしたり。夜は夜で、そのころ全盛だったインベーダーゲームに興じたり、大声で歌を歌い合って近隣の人にどなられたり」

「そういえば、長野や横浜、富山、大阪、それに地元・亀岡の連中も加えて、それぞれの郷土料理をつくりあったこともありでしたね。私はもっぱらお好み焼(広島風)を焼いたものです」

北山で映画撮影をしていた山口百恵の追っかけをしたり、キャンディーズの解散を話題にしたりと、結構ミーハーなところもあったという。そんな坂本さんも、娘さんが学校へ通うようになるとPTAに引っ張り出され、宮島町商工会青年部長や観光協会の役員を務め、趣味の面では、ヨット・ダイビングなどに打ち込み、ここ数年は本業以外でも忙しい日々が続いたようだ。

「でも、やはり商売第一ですからね。本業に徹し、もっとお客様に喜んでいただけるお菓子づくりに打ち込んでいきたいと思っています」

有限会社 坂本菓子舗
 ☎739-0500 広島県佐伯郡宮島町455
 ☎0829-44-0380
 ホームページアドレス <http://ww4.tiki.ne.jp/~sakakasi/>
 ●山陽新幹線広島駅下車。JR山陽本線広島駅から宮島口駅へ。宮島口から連絡船で宮島へ。宮島桟橋から東へ徒歩10分。
 ●山陽自動車道・廿日市I.Cまたは大野I.Cより国道2号線にて宮島口へ。フェリーで宮島到着後、厳島神社方面に向かい五重之塔が見えたらその下。

夜を徹してゲームや歌に興じ、郷土料理を楽しんだ学生時代。そんな亀岡での思い出を、今も友人と語り合っています。



ご両親と叔父さん。それに坂本さん夫妻の5人のチームプレーで製造・販売の一切を切り盛りしている。高品質な商品と温かい人柄を求めて、間口の広い店内には観光客が次々と訪れる。



エリア探訪 **四国編**

土佐の小京都・中村市は、四万十川と太平洋の幸に恵まれた食の宝庫でもある!



瀧澤弾介

PROFILE
 昭和51年3月
 経済学部経済学科卒業
 株式会社大泉たきざわ経営
 高知県中村市天神橋
 ☎0880-35-3500
 昭和元年創業、昭和27年会社設立の呉服店「大泉たきざわ」の三代目経営者。地元の商工会議所やJCの役員として、町おこしや産業振興にも力を尽くしたが、現在は退任して店の経営に専念。

商売の修業も兼ねて、十分に楽しんだ7年間の京都暮らし。

中村市は、四万十川の流域に発達した高知県西南部の町である。1468年、応仁の乱を逃れて下向した前関白・一条教房が、市街地中心部の小高い地に中村御所を設け、京都に模した町づくりを行った。御所跡は一条神社として、今もその面影をとどめている。

この一条神社の斜め向かい、中村市随一の商店街・天神橋の入口付近に、瀧澤さん経営の呉服店「大泉たきざわ」がある。創業75年の老舗だけにお客様はみんな顔なじみ。モットーは「正直な商売」に徹することだという。

小京都・中村に生まれ育ち、家業が呉服店とくれば、京都の大学を選んだのは必然と言えるだろう。1年間は亀岡に、2年目からは太秦の双ヶ岡に下宿し、京都での暮らしを十分に楽しんだ。さらに卒業後も京都市内の呉服問屋に入社し、



厳しくごしかれながら商



左上是奥さんのツーショット。バッグや履物など、和装小物類もバラエティに富んでいる。



呉服店ならではの量産品の売場には、瀧澤さん自身が京都に出かけて色柄を厳選した商品が多くそろえられている。品知識や商売のノウハウを身につけ、トータル7年間の京都暮らしにピリオドを打った。

一泊してこそ分かる中村の魅力。目と舌で「四万十の町」を味わう。

四万十川の遊覧船(屋形船)で遊ぶもよし、カヌーを楽しむもよし。祇園や大文字、鴨川、東山といった京都ゆかりの地名を探訪するもよし。また昆虫マニアなら、74種ものトンボに巡り合えるトンボ自然公園もある。

一方、川エビやゴリ、ウナギ、アオサなど、四万十川の幸を舌で味わうのも忘れてはならない。また土佐といえばカツオだが、なかでも瀧澤さん推奨の塩タタキは絶品だ。瀧澤さんは強調する。中村は四国観光の通過点ではない! ぜひ一泊して、本当の素晴らしさを目と舌で堪能してほしい、と。

そんな瀧澤さんが同窓会に望むのは、高知支部を設けること。高知市内には何人かの同窓生がいるが、中村では瀧澤さんただ1人しかいない。京都から遠く離れた地にいても、気軽に同窓生が交流できる場を、ぜひつくってほしいというのが切なる願いなのである。

瀧澤さんに聞きました

中村のお勧めの場所



①総延長198kmの四万十川
 景色がすばらしいばかりでなく、アカメやアユ、ゴリ、川エビ、青のりなど魚種も豊富で「生命の宝庫」と呼ばれている。



②中村御所跡の一条神社
 境内には藤見の御殿跡や化粧の井戸など、約100年にわたってこの地を治めた一条氏ゆかりの旧跡が遺されている。



③カツオの塩タタキ
 料率わかまつ(☎0880-35-0051)の名物料理。舌の上でとろけるうまさは例えようもなく、瀧澤さんイチ押しの特産品。

Let's Reeducate!
誌上ゼミナール

21世紀社会では リカレント教育が 明暗を分ける!?

気鋭の教育学者がアドバイス

年功序列賃金制も終身雇用制も半ば崩壊し、業界再編成、リストラ、企業倒産と、世はサラリーマン受難の時代を迎えている。頼みとする企業に頼れない、そんな時代のなかでサラリーマンが頼れるのは自分しかない。そこで、このところ注目を集めているのが、社会教育と学校教育を循環的にシステム化しようとするリカレント教育だ。そこで今回は生涯学習を専門とされている今西幸藏先生にお話を伺うことにした。



今西幸藏先生

京都学園大学人間文化学部人間関係学科教授
専門分野／「生涯学習支援システムの研究」
大阪府教育委員会事務局や大阪府立高校教頭などの実務経験を活かし、実学的・実践的な研究活動を展開中
最近の論文／「地方分権と生涯学習」「わが国の単位制高校の現状と課題」
最近の著書／「生涯学習都市島岡はいま」「生涯学習情報ファイル」
最近の研究テーマ／「国際センターにおける職業教育」「教育ボランティアの意義と役割」「地域と学校の連携」

学校教育と社会教育の循環で、働く場を保障し豊かさを守る。

いつでも、どこでも、誰もが学べるのが「生涯教育」の基本

1988年、文部省は従来の社会教育局を廃して生涯学習局を設置。1990年、生涯学習振興法が立法化され、生涯学習審議会がスタート。そして1998年には教育訓練給付制度が発足するなど、このところ生涯学習をめぐる動きが活発だ。今西先生に解説していただく。

「まず、「教育」と「学習」の基本的な違いを知っておいてもらいたいと思います。教育とは、一般に学校教育に代表されるように、教室があり、教材があり、先生がいて、文部省の指導要領に基づいて行われるものを指します」

「これに対して、人間が生まれてから高齢にいたるまで、意識する・しないにかかわらず学び取っていくのが学習です。言葉を覚える、遊びを覚える、買物の仕方や道順を覚える、テレビを見て新しい知識を得るなど、日常的な行動や態度を通じて学び取るもの。いわば「わかった」という体験のすべてが学習である、とっていいと思います」

「そんな学習行為を体系化・システム化しようというのが、いま話題となっている「生涯学習」なんです。1982年に文部省が「いつでも、どこでも、誰もが学べる機会をつくる」という主旨の見解を発表しましたが、これこそ生涯学習の基本と言えるでしょう」



社会の成熟化とともにって脚光を浴びるリカレント教育

では、生涯学習という概念はいつごろ、どこで生まれたものなのだろうか。

「ユネスコが「あらゆる人々が教育を受ける権利を有する」と提唱したのが始まりと言えるでしょう。ただし、ユネスコのその後の動きは発展途上国を視野に入れたものであり、先進国がかかえているテーマとは、また視点を異にしています」

「一方、1930年代のユーゴで、「大人には大人の価値観や経験がある」という観点から、学校教育後にも成人教育の必要性があるとの考え方が生まれ、50年代にはそれが各国に広まってきました」

「現在の生涯教育の基になったのは、OECD（経済協力開発機構）が生涯教育構想を提唱したことに始まります。その中の一つが、「循環する」という言葉から生まれたリカレント教育。すなわち、学校→社会という一方通行の教育ではなく、社会へ出た後も学校への再入学

教育訓練給付の支給状況（単位：人・千円）

	受給者数	支給金額
平成10年度	198	9,205
平成11年度	149,604	13,241,777
平成11年8月	18,858	2,128,252
9月	11,098	810,178
10月	24,397	2,750,919
11月	19,004	1,732,790
12月	14,673	991,825
平成12年1月	13,761	968,224
2月	13,970	891,056
3月	16,096	1,121,544
4月	18,378	1,584,831
5月	19,014	1,591,844
6月	19,392	1,733,087
7月	24,070	2,751,413
8月	31,557	3,735,357
平成11年3月からの累計	262,213	24,647,513

※教育訓練給付の施行は平成10年12月1日、支給開始は平成11年3月である。



を可能にし、学校教育と社会教育とを循環的にシステム化しようというわけですね」

「実は、リカレント教育という発想が生まれた背景には、昨今の社会情勢が大きく影響しています。たとえば現在、イギリスの政権党は労働党であり、ドイツは社会民主党ですが、なぜ労働者側に立つ政党が政権を握っているのか。それらの国では、富裕層1割に対して中流以下の人たちが9割を占めています。つまりそれだけ社会的弱者が多いわけで、弱者が増えれば必然的に社会不安が高まる。それをどう防ぐかが問題です」

「社会不安を防ぐためには、社会的弱者に対して仕事を保障し、ある程度豊かな生活ができる基盤をつくる必要がありますが、そこで重要な役割を果たすのが生涯教育、とりわけリカレント教育です。つまり、たとえ失業したとしても、次の職を得るための再教育が受けられる機会を提供しようというわけです」

「では、その費用を誰が負担するのか。その対策として設けられたのが、日本では教育訓練給付制度なんです。専修学校などの教育機関で指定講座を受講し、修了すると費用の8割・最高20万円を国が補助するという制度です。このほか、失業者をできるだけ出さないよう、労働省が企業内教育のための補助金を出すなど、社会的弱者救済のためにさまざまな対策が講じられています」

学歴社会から学習歴社会へ、 ナンバー1からオンリー1へ。



もはや企業内教育には頼れない 自らの意思で学ぶ時代が到来

かつての日本企業は、企業内教育や訓練に多くの金と時間をかけてきた。しかし終身雇用制が崩壊し、雇用の流動化が進むにつれて、キャリアアップのための学習は個人に委ねられるようになってきている。

「もともと、企業内教育につながる終身雇用制は、大正デモクラシーの産物なんです。大正時代に頻発した労働争議を収束させるため、ソ連のスターリン政策も取り入れつつ、生涯賃金体系を打ち出したのが始まりです」

「その雇用形態や賃金体系が変わり、企業内教育も期待できなくなりました。では、これまで享受してきた豊かさをどのようにして維持・向上させていくのか。結論から言えば、自分自身の意思と努力で実現していくほかありません。自ら目標を定めて自発的に学び、能力開発を通じてステージを高めていく、そんな努力が欠かせなくなっています」

「国際化・情報化・高齢化など、激変する社会情勢のなかで、学びの切り口はずいぶん多様化していますが、何よりも大切なのは起業家的発想での学び、すなわちクリエイティビティの涵養だと思います。自ら考え、自ら仕事を創造して

いこうとする積極姿勢ですね」

「どんどん多様化していく価値観と、自分の内面とをいかにマッチングさせていくか。つまり、自分が目指すところと価値観の多様化との接点を見つけ出し、自分から何かを仕掛けていくという、積極的な創造性が望まれます」

「これからは誰に頼ることなく、自分の力で生きていくことが求められる時代なんです。先の世界女性会議において、女性の自立支援策が協議されたなかで、エンパワメントという言葉が盛んに使われました。エンパワメントとは、それぞれの人間固有の能力や資質を開花させること。まさに自分だけにしかない、オンリー1を目指す時代なんです」

フレキシブルな発想で 「自分探しの旅」に出かけよう

人も企業も大きく変容する21世紀社会。そこではどんな人材が求められ、それに対応していけばいいのか。

「従来の偏差値教育は、いい大学に入っている会社へ就職するという、いわばベスト1を目指す競争社会を生み出してきました。しかし、これからは自分だけにしかない能力や資質が評価される、オンリー1の社会がやってくると思われま。つまり、学歴社会から学習歴社会への移行が予測されるわけですね」

「そこで大切なのが、学習にあたってはこれまでの企業内教育にこだわらない、フレキシブルな発想です。休日は増えているし、残業

も減っていますから、自分自身を磨き高めるための自由な時間はいくらでも持てるはず。余暇時間を利用して、大いに自分発見の学習に取り組んでほしいと思います。正規の学習ばかりでなく、友人といっばい飲みながら異業種交流をする、といった形があってもいいでしょう。ともかく自己発見をして、次のステップへ進む努力を続けていく必要があります」

「ただし残念ながら日本は、社会人が再教育を受けるためのシステムが随分遅れています。たとえば職業訓練施設は、数もバリエーションも少ないし、設備も古すぎる。官と民との協力によって、大学や専門学校から職業訓練施設まで、もっと価値観の多様化に見合った、キャリアディベロップメントのための学習の場を整備するべきですね」

「もちろん、大学も専門的かつ高度な知識や技術を提供する、リカレントの場としてもっと活用されるべきです。もっとも、本当に社会に開かれた大学になるためには、教員の意識改革が必要だと思います。もっと社会にかかわり、社会に有益な教育を行っていくために、さらなる努力をしていかなければなりません」



社会に還元し得る生涯学習を 目指し、いま第2ステージへ

徐々に関心が高まりつつある生涯学習だが、これをさらに社会に有用なものにしていくためには、どのような課題の解決が求められているのだろうか。

「かつて、私は京阪神16大学の公開講座のコーディネーターを務めたことがあります。そこで感じたのは受講する人がいつも同じ、つまり受講者が固定化していて、しかも講師の話を聞いてそれで終わりという状態でした。自己満足で終わり、そこからの広がりがなかったわけです」

「しかし、それではダメなんです。これからは受け身ではなく、学んだことを社会に還元する。すなわち参加し、行動する市民づくりに役立ってこそ、生涯学習が本当の意味で活かされ、評価されることになるわけですね」

「生涯学習はその性質上、学校・家庭・企業・地域社会といったさまざまなレベルで行われるべきものです。たとえば



1992年の生涯学習審議会で、1.社会人対象のリカレント教育の推進、2.ボランティア活動の支援・推進、3.青少年の学校外活動の充実、4.環境問題や国際理解など現代的問題に関する学習機会の充実、と

いう4つの課題をあげています」
「そうした多様なテーマのなかから、自分にマッチングしたものを選び、一人ひとりの市民が積極的に学んで社会に還元していくこと。それがますます成熟化が進む21世紀の課題であり、教育改革の根本であると考えています」

地域社会で活躍する人材の 育成が期待されるKGU

最後に、生涯学習が必要とされる社会環境が、大学教育に何を求めているのかを今西先生に語っていただいた。

「私は全国の市町村で、年間50回以上の講演活動を行っていますが、確かに日本は生まれ変わりつつあります。家庭内で自立した女性を中心に、どんどん社会参加するようになっていきますからね」

「いま日本は、地方分権・地方主権の時代へと変わりつつあります。やがては、直接民主主義の社会も実現するでしょう。そうした時代に備え、官僚支配を脱するために、市民の力、民間の力を大いに高めていかなければなりません。そして、そんな参加型市民づくりを行っていくために、ますます重要性を増していくのが生涯学習です」

「なかでも大切なのが、生涯学習を通じて地域社会のリーダーを育成することです。最近、価値観の多様化にともなって、地方の町や村でも地縁的・血縁的



コミュニティが崩壊しつつあります。何か地域で行事をやるにしても、なかなか人が集まってこないですね。そこで求められるのが『この指とまれ』と呼びかける人づくり、さらには自発的に参加する人づくりなんです」

「その意味で、私は実学主義を掲げるKGUの学生および卒業生に、大きな期待をかけています。実学とは、自らの力で生きていける人材を育てることから、ぜひとも地域社会のなかで自立した有用な市民、地域社会のリーダーになってもらいたいと思っています」

「そんな願いを込めて、学内に『遣唐使』という名の生涯学習研究会を設けています。学友会には加わっていませんが、現在30名ほどの学生が参加していただいてね。その目的は多くの市民と出会い、話し合い、活動し、食事も共にしながら、体験と交流を深めよう、さらには市民との交流を通じて、エンパワメント＝各自の能力開発を図り、同時に地域社会のリーダーを育てようという研究会です」

「20世紀は対立と抗争の時代でした。21世紀は、お互いが調和していく時代でなければなりません。KGUの学生と卒業生には、そんな21世紀社会にふさわしい市民性を身につけ、地方行政と民間との調和を図りながら、地域社会のために働く人材になってほしいと思いますね」

地方分権の時代に備えて、 地域社会のリーダーを目指せ。

着々と進む施設・設備の充実化

昨年度、KGUでは人間文化学部がスタートし、人文・社会科学系の総合大学へと大きく前進しましたが、同時に施設・設備面の整備も着々と進んでいます。そのなかから最近の実績とこれからの構想について、主なものをご紹介します。



2000年4月、京都学園中学校がスタート! 45名の新入生を迎え入学式を挙

高校教育75年の伝統を基盤として、「世界的視野で自ら考え行動できる」人材の育成を目指し、今日の社会が義務教育に求めている課題を解決することを目的として、2000年4月に京都学園中学校を開校しましたが、その第1回入学式が4月8日午前10時より第2体育館で挙行されました。真木意令校長の式辞、辻本理事長および傳田大学学長の祝辞に続いて、新入生代表の光岡香洋君が宣誓。GDM (Graded Direct Method) 担当の村上先生が歓迎の辞を述べて、滞りなく式を終了しました。

生徒たちは4月10日のパソコン授業を皮切りに、英語のGDM授業(日本語を全く使わない授業法)や、2泊3日のオリエンテーション合宿などで第一歩を踏み出し、元気いっぱい授業に課外活動にと、取り組んでいます。

真木校長は「躰指導に重点をおき、「個人と集団」「生命の尊さ」「国際人」をテーマとし、各種の取り組みによって

「思いやりの心」を具現していく。また、21世紀を見据えコンピュータ時代に対応するべく、一人一台のノートパソコンを持たせ、授業も含めたあらゆる機会に徹底活用した指導を行っている。さらに国際化に対応した英語力、特に英会話力を高めるための生きた英語教育にも重点をおいている。私学ならではの思いきった政策と教員の情熱は、中高一貫の全期が興味あるものであると確信している」と述べておられます。また、上津裕教頭は「楽しくなければ学校じゃない。面白くなければ授業じゃない」をモットーとして3年間、生徒を飽きさせない「仕掛け」を絶えず用意して、教育に臨んでいく」と語っておられます。



京都学園中学校

語学教育+情報教育がさらに一歩前進 学志館1階にCALL教室を新設



教務部長
田中 宏明

本学では1997年度より、光風館のKII教室でコンピュータを利用した語学教育であるCALL (Computer Assisted Language Learning) を行ってきました。主な目的はTDKの「英検合格シリーズ」と「TOEIC」を用いて、英語のインプット能力とアウトプット能力の向上を図ることです。CALLの特徴は、ソフトがサーバーにインストールされているので、いつでも、どこでも、自分のペースで学習をインタラクティブに進められる点にあります。学習結果は管理ソフトに蓄積され、個々の学習者のデータとしても、学習者全体のデータとしても貴重な資

料となります。例えば「英検」ソフトの場合、学習履歴はもとより、本学学生がどのレベルで誤答が多くなるのか一目瞭然で、学習者へのフィードバックのみならず、個別指導の推進と全体のボトムアップにも大いに役立っています。

そのCALL教室がさらにグレードアップされ、このたび学志館の1階に新設されました。新たにWingNetという巡回



CALL教室



さらなる「帰属意識」と「愛校心」に期待

京都学園大学近況報告



事務局長
並河 忠夫

同窓会の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また、平素は本学教育に物心両面にわたり温かいご支援・ご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。さて、本学も昨年創立30周年を迎え、人間にたとえるならば壮年ともいふべき年代に差し掛かりました。それにふさわしく、既存の3学部に加えて昨年度は人間文化学部を新設し4学部体制を確立。更に大学院3研究科と総合研究所を備え、学生数4500名を擁する人文・社会科学系総合大学として飛躍的に発展して参りました。

初期にご卒業の皆様方は既に50歳前後の年代になられ、正に社会の中心的存在として各界各分野で活躍しておられます。母校が大きく発展する事は歳が経つにつれて誇らしく嬉しいものであり、在職の会員の方々と共に力を合わせて一層の努力をいたしております。皆様方もそれぞれにお忙しい立場でご活躍の事と思いますが、是非お立ち寄りのうえ恩師の先生方や後輩にも声をかけていただき、本学の発展ぶりをご覧いただきたいと願っております。

ご承知の事と思いますが、本学園では2000年4月から高校キャンパス内に中学校を新設。6年間の中高一貫教育の構築と、更にこれを大学教育へと繋げる教育システムが出来上がり、総合学園として益々教育内容の充実をはかっております。私学を巡る環境は極めて厳しい状況にある時だけに、今こそ総合学園としてのメリットを生かしてこれに立ち向かわなければなりません。初期にご卒業の会員のご子女が既に入学され、親子2代の学園大生も生まれて参りました。教育内容も大学としての専門教育の充実も勿論、現代社会のニーズに即応した会話重視の語学教育や各種資格講座の開設、IT時代に対応した情報教育等、幅広いカリキュラムが展開されております。近隣の会員の皆様方には、幼稚園や中学・高校への進学も含め是非ともお勧めいただきたいと思っております。

私学間競争に生き残る為には、教職員は勿論、卒業生の皆様方を中心とする関係者がどれほど強い「帰属意識」と「愛校心」を持つかに係っていると思います。その意味から、今後は本学から同窓会に対する情報発信の拡大と、全国各支部の皆様方との交流等連携強化に努めたいと考えております。今後

の本学の発展は、同窓会の皆様方と在学生と保護者の皆様方、更にこれまで学園にご縁のあった方々が英知を結集し、「京都学園ファミリー」としてがっちりスクラムを組んでこの難局に立ち向かうことです。どうか会員の皆様方の一層力強いご支援・ご協力、そして堅い結果を重ねてお願い申し上げます。



悠心館



第2クラブハウス



マルチスタジオ

管理ソフトを導入することにより、出欠の管理はもとより、学習スピードの把握やホームページの一齐配信などが可能となり、多様な学習を進めることができます。

また、CALLを推進するうえで、自由にサーバーにアクセスして個人学習を可能にする環境づくりが必要であり、そのため今回はセルフラーニング室も新設しました。これによってサーバーにインストールされている教材はもとより、各自の目的やレベルに応じたビデオやCD、CD-ROMなどの教材を借りて、マイペースで学習できるようになりました。さらに、CS放送の「24時間英会話」や「CNNニュース」も常時流されており、今後は英語教育の「おすすめページ」なども紹介していく予定です。同時に、学習指

導やコンピュータ利用に関してアドバイスするスタッフを常駐させ、学習者へのきめ細かな対応をはかっています。

本学の学生数は約4500人ですが、学生が自由に利用できるコンピュータは約520台とかなり充実しています。現にリクルート社が学生を対象に行った調査でも「自由にパソコンを使うためのサービスが整っている」という項目で、本学は全国8位に入っており、この環境がCALLの推進に大いに役立っています。

なお今回の改装では、語学教室の机を固定式から個人用に入れ替え、「総合英語」だけでなく「英語コミュニケーション」や「オーラル・イングリッシュ」などにも対応できるようにし、多様な授業が行える教室として利用率を高めることが

できるように配慮しました。

これは小さな「IT革命」ですが、学生の学習意欲を高め、効率的な学習の機会や方法を提供することによって「生きる力」を養う大きな意義のあるものにするよう、今後とも一層努力していきたいと考えています。



セルフラーニング室

卒業生の会社

今回は自ら会社を設立し、社長として活躍中の卒業生を紹介します。京都本社・大阪支店のほか、滋賀と東京都に事業所を持ち、約180名のスタッフを擁してコンピュータソフト開発会社を運営する、美馬芳彦さんのオフィスを訪ねました。



「出る杭を伸ばす」人材重視の経営 株式会社 総合技研サービス

美馬さん自身も「技術はもちろん必要ですが、それ以上に大切なのが人間性です」と言い切る。社会人としての基本的なエチケットはもちろん、出る杭を伸ばし、ともに夢を語り合える人材を育てるため、何よりも社員教育に力を注いでいるという。

総合技研サービスは、コンピュータシステムの受託開発サービス・人材派遣サービス・アウトソーシングサービスを事業の3本柱とする、まさに「人材」が資産の会社である。美馬さん自身も「技術はもちろん必要ですが、それ以上に大切なのが人間性です」と言い切る。社会人としての基本的なエチケットはもちろん、出る杭を伸ばし、ともに夢を語り合える人材を育てるため、何よりも社員教育に力を注いでいるという。

美馬芳彦
昭和54年経済学部経済学科卒業
株式会社 総合技研サービス代表取締役社長
京都市中京区烏丸通御池上ル二条殿町552番地
明治生命京都ビル
TEL.075-211-5533

KGU卒業後、ゼネコンの営業マンとしてスタートした美馬さんは、昭和63年に友人と2人で会社を起業。さらにその4年後に独立し、本人いわく「だまされたり利用されたり」しながら経営者としての資質を磨き、今日をみるにいたっている。学生時代は毎日深夜までアルバイトをして学費をかせいで頑張り通したというが、その経験や根性が今に生きていると言えそうだ。



地元で頑張っています

最近、残念なことに目を輝かせて夢を語る若者が少なくなっている。そんななか、中学時代からの憧れであったDJへの道を切り拓いて、次第に頭角を現わしつつある卒業生がいる。ターキー出口＝出口貴章さんに取材をさせてもらった。



「夢を追うより地道に働こうと会社に就職したものの、やはり夢を捨て切れなくて」と語る出口さんは、4年間でサラリーマン生活にピリオドを打った。タレント事務所に入ったものの、最初は当然ノーギャラ。バイトでしのぐ厳しい日々が続いたが、それを支えたのが学生時代に培ったハングリー精神だ。陸上部で初の近畿大会出場を果たすと同時に、朝は5時から新聞配達、夜は8時から12時までレンタルビデオ店でバイトというハードスケジュールをこなした自信である。

そんな出口さんも、昨年10月に事務所を変ったころから仕事が増え始めた。代表的なのがOBCの「爆奏! ロックンボム」のDJ。インディーズバンドを次々と紹介する一方、HPを開いてホットなメッセージを発信し、女子高生をはじめとする若者たちの兄貴のような存在となっている。このほか関西FM全局やKBS京都、テレビせとうちなどに着々と出番を確保。地元を根を下ろしてレギュラーをつかみ、やがてはメジャーに、そんな新たな夢に向かってファイトを燃やしている。

ターキー出口（本名：出口貴章）
URL <http://www.djturkey.com>
平成4年法学部法学科卒業
平成4年法学部法学科卒業
大学卒業後、和装小物製造卸の会社に就職し営業に従事。そのかわりアナウンス学校に通う。現在、ラジオやテレビ、CMやイベントなどのDJ、ナレーター、司会者などとして活躍中。

あの先生は、今

今回はKGUに10年間在籍され、6年間にわたって学長を務められた木内佳市先生のご自宅を訪問した。79歳を迎えられた今も元気いっぱい、教職に、公職にと追われる毎日だ。

木内佳市先生
昭和62年教授、平成元年経済学部長、平成2年学長、平成8年大学院特任教授、平成9年3月退任。京都学園大学名誉教授、神戸商業大学、経済学博士（大阪大学）

「現在、追手門学院大学の大学院（修士・博士課程）で財務管理企業財務論を特講するかたわら、大阪府・池田市・近畿通産局の11の審議会や評価委員会などで会長や委員を務めています。大阪府も池田市も財政再建団体に陥りかねない財政状況だけに、あえて厳しい意見を述べ、評価を下すことも必要だと思っています」

「KGUでの思い出といえば、やはり学長時代の6年間ですね。経営学部を独立させ、大学院の3つの研究科を創設し、短大を学部部に格上げするお膳立てをするなど、現在のKGUの形をほぼ創りあげた実績がありますから、とりわけ大学院の設置にあたっては自ら何度も文部省へ足を運び、教授の選定もほとんど私がやりました。事務局の優秀なスタッフに恵まれたことが幸いしたな」

「KGUの学生の長所は素直さだと思います。なかでもクラブ活動に打ち込んでいる学生は、とても人間味があって良かったですね」



VOICE BOX

京都学園大学教職課程の第1回OB・OG親睦会を開催



本学では今年から教職課程が4学部体制となり、教員免許状の取得を目指す学生が大幅に増えています。そこで、教員採用試験突破を目指す学生に少しでも力になっていただければとの思いから、龍尾祭でにぎわう1999年11月3日午前11時、本学の楠風館2階会議室において教職課程のOB・OG会を開催しました。スペシャルゲストの米田貞一郎先生をはじめOB・OGの先生方9名、4回生6名、3回生5名、本学教員6名が参加。OBの平嶋智晃先生の講演や学生との質疑応答を1時間半にわたって行いました。12時半からは会場を白雲ホール2階の談話室に移して昼食会を実施、なごやかな雰囲気の中に第1回親睦会を終了しました。今後、これを恒例行事として毎年開催していきたいと思っています。なお、ご連絡もれのOB・OGの皆様には深くお詫び申し上げます。今回、案内が届かなかった方はお手数ながら、教職課程指導室（☎0771-29-2182）の齋藤までご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。



京都学園大学 創立30周年記念募金にご協力いただき有り難うございました

前号に引き続き、募金をお寄せくださいました方々の芳名を下記にのし、お礼に代えさせていただきます。（順不同・敬称略）

山口 毅 海原大助 大城伸也
澤 嘉昭 久世善春 長崎好一
土井克仁 中村慎太郎 齋藤 豪
石原祐次 落合 晃 太田真治
川島晋一 川村哲三郎 篠崎智行
佐藤隆也 橋本 潔 牧 貞勝

ごあいさつ

わが同窓会の会員兄弟におかれましては、ますますお元気で活躍のことと思います。私達の母校は平成11年4月に創立30周年を迎えましたが、これに際して平成11年1月より12年3月まで創立30周年募金を行いましたところ、多数の同窓会員の方々からご寄付をいただきました。ここに謹んで厚くお礼申し上げます。

ご承知の通りここ数年の母校の発展はめざましく、既存の経済学部・経営学部・法学部に加え、30周年を機に人間文化学部が新設されて4学部体制となり、学生数4500名を数える人文・社会科学系総合大学として大きく飛躍発展しております。

わが同窓会も平成15年には設立30周年を迎えますが、これに向けて同窓会組織の充実を図り、地方支部の設置や同窓会館の建設など大きな課題への取り組みを進めたいと思っています。

本会は「会員相互の親睦を図ると共に母校京都学園大学の発展に寄与する」事を目的として設立されました。同窓生一人ひとりが京都学園大学の卒業生としての誇りを持って社会人として活躍し、母校の名声を高める事がその使命であると思っています。

会員皆様方のご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



平成12年12月
京都学園大学同窓会
会長 浅野真実

平成11年度 京都学園大学

同窓会 決算書

一般会計 (単位:円)	
科目	決算額
前年度繰越金	2,321,661
会 費	23,175,000
雑 収 入	5,023
積立金より移算	10,000,000
収入の部合計	35,501,684

一般会計 (単位:円)	
科目	決算額
事 務 費	929,092
人 件 費	259,720
事務補助費	669,372
会 議 費	936,051
会 議 費	321,881
交 通 費	614,170
事 業 費	27,577,813
会報発行費	5,856,172
名簿発行費	637,995
総 会 費	558,450
助 成 費	4,798,550
大学創立30周年助成費	15,000,000
奨 学 費	720,000
慶 弔 費	6,646
積 立 金	4,000,000
基金積立金	0
事業積立金	4,000,000
予 備 費	0
翌年度繰越金	2,058,728
支出の部合計	35,501,684

ホームページで見る「母校の今」

インターネットで母校の最新情報を見たり、Eメールで情報のやりとりをすることができます。また、近く同窓会専用のホームページを開設する予定です。楽しみにお待ちください。

インターネット:
<http://www.kyotogakuen.ac.jp/>
Eメール:
gakusei@kyotogakuen.ac.jp

お便りをお待ちしております

住所変更や近況報告、誌面への掲載希望や紹介、クラス会・OB会の報告など何でも結構。お気軽に同窓会事務局へご連絡ください。

TEL:0771-22-2001(代)
FAX:0771-29-2389

事務局だより

凶悪犯罪の低年齢化、政治家・企業経営者による汚職事件、深刻な環境問題など将来に不安を抱かせるような事件、出来事が毎日のように新聞・テレビで報道されていますが、学生と接して感じます。「なにが社会に貢献したい」という若い力が確実に動いていることを…。彼らの様な人材が社会に多く巣立てば、この社会にはきっと明るい未来が待っているはず。前号から編集内容をリニューアルし、「読んで元気の出る」広報誌づくりを目指し編集委員一同頑張っています。今号も多くの元気な卒業生にご登場いただきましたが、いかがでしたでしょうか?本号をお読みになってのご感想やご意見、ご提案などどんなことでも結構です。今後の誌面づくりに役立てていきたいと考えていますので、皆さんのお声をどんどんお寄せください。

ふれあいレポート

各界で活躍する
先輩の「今」を訪ねて



杉山泰治

経済学部経営学科
昭和48年卒業
Restaurant POKKIN'S経営
1期生の杉山さんは野球部の草分けでもある。グラウンドが未整備だったため、練習の前にまず石ころを拾うのが日課だった。



レポーター
月安修子

経済学部経済学科
平成6年卒業
京都学園大学総務課勤務

今回は、京阪電車の中書島駅で宇治線に乗り換えて2つ目、桃山南口駅から南へ徒歩5分の「ポキンス」を訪ねました。昭和59年、杉山さんが34歳の時にオープンされた、フレンチ主体の創作料理のレストランです。

このお店の自慢は、なんといっても産地直送の新鮮な魚介類。毎朝、日本海の漁港へ電話して、その日に獲れた魚を直送してもらおうというこだわり。野菜も地元産の新鮮なものばかり。素材の持ち味を生かした、「ポキンス料理」がつけられます。

KGU卒業後は、サラリーマンとしてスタート。ところがお父様が病に倒れられ、経営されていた会社を整理しなくてはならず、1年でサラリーマン生活にも終止符を打たざるを得ない状況になりました。やがて中京区のラーメンの屋台の権利を手に入れ、昭和52年に開業。以来6年あまり、調理の腕を磨きながら、レストランの開業資金の貯蓄に努められたそうです。

いよいよ建業にかかる、その間を利用して他のレストランで修業し、ま

日本海の魚介類をメインにした創作料理が自慢。屋台のラーメン屋からスタートし、常に本物のおいしさを追求してこられたオーナーシェフです。

レストラン ポキンス

た青果店で素材の勉強をするなど、あくまでも独学でオーナーシェフとしての実力を蓄えられました。

学生時代は1期生ということもあって、学生も教職員もみんな顔見知りになり、誰もが個性的で楽しかったと思いを語ってくださいました。そんな同窓生や先生方が、このレストランによく来られるそうで、それを語る時の杉山さんはとても嬉しそうです。

話題が将来に及ぶと、やはり心配のタネは環境問題。自然の素材を大切にしておられるだけに、汚染されたり、人工的につくられたりした食材の氾濫は許せないという表情です。おいしい物を食べるためには環境を大切にしないとね、と話を結ばれました。

同窓生のみなさん、いつでも気軽に立ち寄ってください、と語る杉山さん。



ランチ(11:30~14:00)は¥1200、ディナーは¥4500~。オリジナルな丹波ワインもおすすめ。昔取った杵柄でラーメンも自慢の一品です。



インフォメーション

Restaurant POKKIN'S

京阪宇治線「桃山南口駅」南へ371.9m

☎075-621-0960

営業時間/11:30~14:00

17:30~21:00(ラストオーダー20:30)

※木曜日定休、土・日・祝は要予約



京都学園大学同窓会

☎621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条 ☎(0771)22-2001(代)